

素性不明キャラ「X」に影響



▲バーに勤務するピアニストのX氏
「街」の空には元から生息するカラスと、ブランドロゴを降板されて野生化した「ツイッターの鳥」との交雑種が見られる

大手SNS名称変更 独自取材

大手SNSの「Twitter (ツイッター)」がサービス名称を「X」に変更した。その影響はインターネット上だけではなく、思わぬ世界にも広がっている。自らを「X」と名乗る素性不明のミステリアスな人物たちは、ユーザーを多数抱えるSNSの名称と自分の通称の「かぶり」で不利益を被っているようだ。
海辺新聞は「X」を名乗る人物の一人に対し、独自インタビューに失敗した。
(聞き手・根住知矢)

海辺新聞

2023年9月3日
日曜日

シーサイドブックス
SeasideBooks
制作・山川夜高

Website libsy.net Twitter [@mtn_river](https://twitter.com/mtn_river)

Fediverse (Misskey) @mtn_river@misskey.design

Online Store libsy.booth.pm



新刊 計画運休

「ベースの日」間に合わせ

文芸サークル「シーサイドブックス」は「文学フリマ東京37」開催に合わせて発表する予定だった新作小説本の発行延期を発表した。文学フリマ東京37は11月11日に開催される同人誌即売会イベントで、同日は日付の並びが4弦ベースの弦に似ていることから、ベーシストの亀田誠治氏が「ベースの日」として記念日登録を行っている。新刊として予定されていた作品は、2000年代の架空のロックバンドを題材にした新作長編小説だ。登場人物のひとりがベ

ツイッターの名称がXに変わったことについてどう思いますか。
「なんですか。いったい何の話ですか。ぼくには関係ないでしょう」
「多くの人が利用し、便利ですが、問題も抱えていたツールがありました。それを資産家がい取って、自分好みの名前やサービスに変更しました。運営方針の変更にも、ユーザーの不満の声も上がっています。知らないですが、聞く限りそういうこととはよくある話のように思えます」
「Xさんはどう思いますか」
「まあ、異論も出るでしょうね」

ーシストであるため、ベースの日の発行を目標に制作が進められていた。
発行延期に対して、作者の山川夜高は「奥付記載の日付をベースの日にできず残念だが、スケジュール的に無理なものはムリだった。ぶっちゃけまだ話の着地も決まっていなくて、なんとか作品になるように皆様お祈りをお願いします」と語った。
一方で山川氏の脳内からは、山川氏が「映画などを見て遊んでいた」絵ばかり描いている「Misskey (ミスキー) の見すぎ」といった批判の声も寄せられている。志佐井戸署の締切警察は、山川氏の制作スケジュールに不適切なサボりがあったとみて調査を進める方針だ。

「ツイッターの鳥」野生化

カラスと交雑 より凶暴に

取材を行った地区(通称「街」)はカラスが多く生息している。そこへ生息地を失った「ツイッターの青い鳥」の一部が飛来して、カラスと交雑した「黒い鳥」が発見されている。黒い鳥はロゴ降板の影響で「闊落ち」したと見られ、カラスや青い鳥よりも性質が凶暴化している。「全く手がつけられない」と市街地中心部にある劇場の関係者は語った。「繁殖期のカラスが通行人を威嚇することもあります。あの鳥たちはいつでも攻撃する相手を探しています。最も多いのは劇団の監督や出演俳優に対する攻撃です。作品そのものを見ずに評判だけで無根拠に判断し、集団で誹謗中傷を行います」鳥たちも帰る場所を失って自暴自棄になっているのかもしれない。それならば受け入れましょう、ここはそういう者のための街だから

ねずみちゃん
LINEスタンプ
なるほどね
40種
好評
配信中

水死体を
拾って
飼う。

短編小説
入江にて

シーサイドブックス
SeasideBooks

小説 これは物語ではない
透明人間は実在した!?
日常を揺るがす実験小説
異端のロックバンド
その生涯を完全密着取材

小説 Drive to Pluto

小説サイト libsy.net/fiction

表紙も本文もつくれる!

文芸デザイン

同人誌向け 有償依頼制作
特殊装丁や印刷所の相談も◎

できること・制作事例など ▶ libsy.net/order

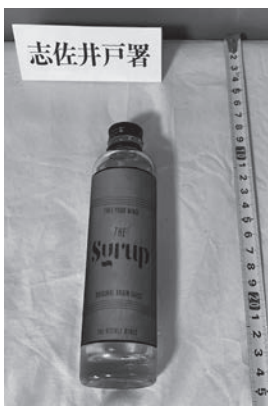
装訂部 by SeasideBooks

「レテ・コーク」に引火ボヤ騒ぎ

多摩川バーベキュー場

■日午後、仮名川県■市■区の多摩川河川敷で「菱な色の煙が上がっている」と通報があり、駆けつけた警察が現場にいた大学生グループに事情聴取を行った。火はすぐに消し止められ、けが人はいない。

現場はJR何武線降戸駅付近にある多摩川南岸のバーベキュー広場で、当日は大学生グループしか利用客がいなかった。警察によると、大学生グループは火の消火時に、周辺に投棄されていた「レテ・コーク」



現場で発見された「レテ・コーク」と見られる商品。国内流通は現在停止しているが、本来の商品パッケージと異なる容器で、インターネットを通じて売買されている。
(志佐井戸署提供写真)

ク」と見られる商品の空き瓶の中身が突然発火し、青色の炎と煙が上がったと主張している。現場にあった空き瓶は、流通しているレテ・コークの商品パッケージとは異なるものであり、大学生グループはレテ・コークの持ち込みを否定している。現場に残存していた成分からは可燃性は認められなかった。

レテ・コークは有限会社ばられるのである(東京都青海市)が国内販売を行っている清涼飲料水だ。商品発売後、軽度の一時的健忘や幻覚作用などが相次いで報告され、商品の流通を一時停止している。しかし恒星労働省の調査によると商品に既存のドラッグ等に類似する成分は含まれておらず、報告された作用はすべてなんらかのプラーシボ効果によるものと結論づけられている。

有限会社ばられるのあるは8月、青海市内の自社倉庫に保管していた商品がすべて行方不明になり、青海署に窃盗の被害届を提出している。

「ボヤ自体なかったのでは」

椎埼総合大学 予東教授

一連の騒ぎに対し、椎埼総合大学先端ヒューマンヒテノシスコミュニケーションデザイン学部よなのナンシー予東教授は「清涼飲料水が燃えるはずがない。ボヤがあったという認識自体がレテ・コークの作用による誤った記憶ではないか」と指摘している。

家親の「ツイアカ」発見 実見て見ぬフリできず

山川夜高の母親のものと見られるツイアカカウントが偶然発見された。掲載されていた花壇の写真が実家の前の風景に酷似していたことから山川氏が連絡を取り、投稿者が母親であると確定した。投稿の内容は主にシルバニアファミリーや「ちかわ」の人形を並べた写真だった。

調べに対し母は「ツイッターを始めてと言ったら反対されると思って黙っていた」と供述している。山川氏は「母を想うなら当然反対する。非公開リストに入れて、注意深く見守るつもりだ」とコメントした。

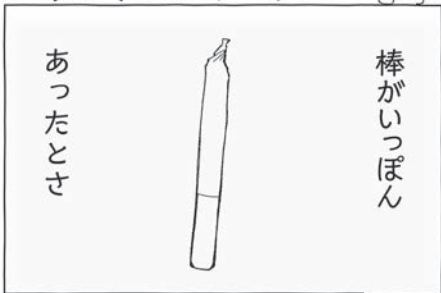
へんしやうこっき



フリーペーパー『海辺新聞』は今号で3作目となる。今回はいつも増してメタフィクションのレベルがどこにあるのか作者自身もよく分からないセルフパロディまみれになった。いずれの記事も作品の本筋には関係ないので、流し読みをしようでいい。気になる記事があれば原作にも触れていたければと願う。

◆今号記事の「元ネタは、表面のXの記事は書籍作品『Cipher』の主人公の名前が「X」であることに掛けた一発ネタである。裏面の飲料に関するくだりは書籍作品『Solartail, 空は晴れ』収録作「あとがき」に由来する(前号の記事と内容が続いている)。4コママンガにはWeb小説『これは物語ではない』の高田巡査らしき人物を描いた。◆今回の頒布分からは『Solartail, 空は晴れ』が第2刷になった。増刷にあたり、書籍内のツイッターアカウントの表記に悩まされたが、またサービスマンが気まぐれに撤回または変更される可能性もあること、私がツイッター以外のSNSも利用するようになったことから、一部本文中のツイッターの表記を撤去した。◆SNSが無くなった私のサイトは消えないので、今後の動向や作品はサイトをチェックしてほしい。文〓山川夜高

ねずみちゃん



バックナンバー配信

『海辺新聞』のこれまでの記事を、シーサイドブックスのWebサイトで公開しています。

libsynet/blog/2811



物語の歩き方 SeasideBooks

“街” CIPHER

劇場完全監修 演劇の街の魅力を満載! 定番演目リストも徹底解説!

CIPHER libsynet/cipher

Skeb

リクエスト受付中

Illustrations 作例

https://skeb.jp/@mtn_river/

シーサイドブックス SeasideBooks 小説

libsynet